

科目名	プレゼンテーション演習				担当	竹内 裕子		
形態	演習	単位数	1	開講時期	1 年前期	実務経験	事務職、マイクロソフトトレーナー経験有	
必修	卒業：選択必修 中免：選択必修 司教：選択必修				ナンバリング	KF103	DP との 関連	(幼) 1 (総) 1・3
授業概要	プレゼンテーションソフトの操作方法を習得するとともに、テーマを決め、テーマにあわせたスライド制作、プレゼンを行い、プレゼンテーションの基本的な技法を習得する（1～3名のグループワーク）。あわせて、マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト（MOS）PowerPoint 2019 の資格取得を目指す。							
到達目標 学習成果	①PowerPoint 2019 の機能を理解し、MOS 試験に合格し得る程度のスキルを習得している ②定められた条件の中で、適切なプレゼンテーションを作成し、実施できる ③指示された課題・レポートを全て提出している							
授業計画	回	内容						
	1	授業ガイダンス	授業の概要、到達目標、評価等、自己紹介スライドの作成					
	2	PowerPoint 2019 の機能①	プレゼンテーションの作成と管理					
	3	PowerPoint 2019 の機能②	スライドの挿入と書式設定、管理					
	4	PowerPoint 2019 の機能③	テキスト、図形、画像の挿入、書式設定					
	5	PowerPoint 2019 の機能④	表、グラフ、オブジェクトの挿入、書式設定					
	6	PowerPoint 2019 の機能⑤	画面切り替えやアニメーションの適用					
	7	模擬試験演習①	テキストの第 1 回模擬試験を実施					
	8	模擬試験演習②	テキストの第 2 回模擬試験を実施					
	9	模擬試験演習③	テキストの第 3 回模擬試験を実施					
	10	模擬試験演習④	テキストの第 4 回模擬試験を実施					
	11	模擬試験演習⑤	テキストの第 5 回模擬試験を実施					
	12	プレゼンテーション制作①	プレゼンテーション作成の概要					
	13	プレゼンテーション制作②	プレゼンテーション作成、発表準備					
	14	制作発表会①	受講生によるプレゼンテーション、アンケート記入					
15	制作発表会②	受講生によるプレゼンテーション、発表の総括						
評価基準	①PowerPoint 2019 の操作を理解し、MOS 試験に合格し得る程度のスキルを習得していること。②定められた条件の中で、適切なプレゼンテーションを実施できること。③指示された課題、レポートを全て提出していること。④プレゼンでは積極的に発表や発言を行っていること、⑤授業では適切な進捗で課題を進めていること。							
評価方法	授業態度 20% 期末試験 40% その他 40%（授業時に指示する課題の内容を評価及び発表・レポートを含む）※期末試験実施日までに MOS PowerPoint 2019 に合格した者は、MOS 試験の得点を期末試験の得点とすることが可能。							
フィードバック 方法	課題はメールに添付し提出。内容をチェックし必要があれば返信する その他質問もメールで随時対応 必要があれば web サイトでも案内する							
アクティブ ラーニング	グループワーク、プレゼンテーション、調べ学習							
教科書	『MOS Microsoft PowerPoint 2019 対策テキスト& 問題集』（FOM 出版）							
参考書	必要に応じて紹介する							
履修条件	・MOS PowerPoint の資格取得や PowerPoint を用いたプレゼンテーションに関心を持っていることが望ましい ・授業時には USB メモリを持参すること							
授業外学習	事前学習：演習用プレゼンテーションに必要な資料集め、スライドの作成、発表練習などのグループワーク 事後学習：授業時間に終わらない課題を仕上げるほか、演習問題などを繰り返し実施することで理解が深まり、定着する。すべてメールで報告することで評価対象とする。							
オフィスアワー	Web サイト、メールで随時対応							